

良夫さんは、県外の友達を案内するために、徳島県の観光パンフレットを見て「鳴門の渦潮」に興味をもちました。次は、【パンフレットの1部】と、良夫さんがまとめた【メモ】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【パンフレットの1部】

世界最大規模 鳴門の渦潮

鳴門市孫崎まごさきと淡路島との間の鳴門海峡かいきょうには、大小無数の渦が巻き、春と秋のおおしお大潮時に最大になり、最大直径 20m にもおよびます。これは、世界でも最大規模と言われ、最大流速は時速 20km にも達し、激しい潮流から発生するごうおん轟音から鳴門（鳴る瀬戸）の名が生まれたと言われています。また、イタリアの「メッシーナ海峡」とカナダの「セイモア海峡」と並ぶ、世界の三大潮流と呼ばれています。

(注1) 大潮=新月と満月のころの、潮の満ち引きの差が一番大きいとき。

(注2) 轟音=大きく響きわたる音。

(徳島県観光協会のパンフレットより作成)



【メモ】

1月17日

鳴門海峡とうず潮について

(パンフレットより)

- ・鳴門のうず潮は（ア）と（イ）の点から、世界最大規模である。
（ア）→ 大潮時の最大直径は、20m
（イ）→ 最大流速は、20Km/時
- ・大きく響く潮の音から「鳴門」の名が生まれた。
- ・イタリアの「メッシーナ海峡」、カナダの「セイモア海峡」と並んで、世界三大潮流と呼ばれている。

(疑問)

- Q 世界最大規模というのは、本当か？
- Q 鳴門に大きなうず潮ができるのはなぜか？

1 良夫さんの【メモ】の（ア）・（イ）に当てはまる言葉を、【パンフレットの1部】を参考にして、それぞれ書きなさい。

イ ア
（ ） （ ）
（ ） （ ）

問題について

「読むこと」複数の資料を関連付けて読む問題
(うず潮について調べる)

社会生活では、様々な資料が作成されています。自分の目的やテーマに合う資料を探したり選んだりする学習では、複数の資料を比べて読み、それが必要なものか、目的に合っているかどうかを考えるようにすることが大切です。その際、関連する複数の情報の共通点や相違点をまとめるなど、情報を整理してみるといいでしょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

23

1 ア 大きさ
イ 速さ

2 エ

3

ウ 激しい海水の流れ

* 「激しい潮流」も可。

エ 鳴門海峡独特の地形

* 「鳴門海峡」はなくても可。

4

(例) (鳴門海峡には、)

幅が一、三メートルと狭く、中央部は深くなるといふ地形の特徴があります。そこに、潮の満ち引きによってできた激しい潮流が流れ込み、中央部を流れる速い流れと、両岸の遅い流れとの間で速度差ができる

(九十四字)

(ことにより、うず潮が発生します。)

* 同様の内容が書けていればよい。

